

文 部 省 檢 定 濟  
大正元年十一月二十八日 高等女學校音樂科用

# 女 子 音 樂 教 科 書

卷 之 二

永 井 幸 次  
田 中 銀 之 助

共 編

開 成 館 藏 版  
大 阪

# 郊外遠足

犬童球溪

一、日毎こもる まなびやの  
 堇つばき咲ける 春の野に  
 思ふどち 手をとりにて  
 ひごろせまき わがむねも  
 せまきうちを 立ち出て、  
 けふのひとひ 送らなん  
 ひねもすに 遊びなば  
 いとみろく なりぬべし

二、かるくかをる 春風  
 袖を吹かれ 野邊ゆけば、  
 かすむそらに 鳥はなき  
 笑める花に 蝶は舞ふ  
 目に見ゆる 花の色  
 耳に聞く 鳥の聲  
 すべて人の心をば  
 清く洗ふものゝみぞ

# 郊外遠足

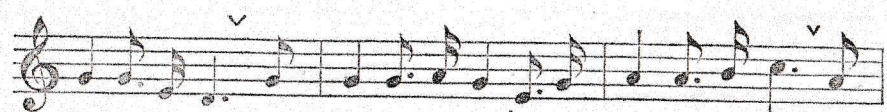
W. B. Bradbury.

♩ = 100-112.  
mf



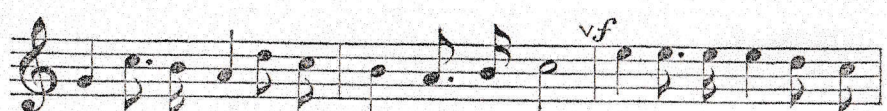
(1) ヒゴトコモルマナビヤノセマキウチナタ

(2) かるくかをるはるかせにそでまふかゑの



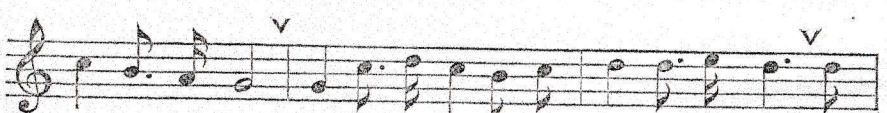
チイデテスマミレサケルハルノノニケ

ベゆけはかすむそらにとりはなき



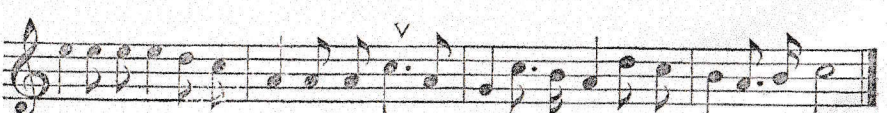
フノヒトヒオクヲナンガモフドテテ

めるはなにてふはまふめにみゆるは



ナトリテヒネモスニアソビナバヒ

ないろみみにきくとりのこゑす



ゴロセマキソガムネモイトモロクナリメシ

べてひとのこころをばきよくあらふものみぞ